

| | |
|----------|---|
| 活動名 | 台湾のかわいい香り袋「香包」を作ろう！ |
| 代表者氏名・所属 | 鈴木志保:ライフサイエンス専攻 食品栄養科学領域 M2 |
| 構成員氏名・所属 | 岸部里穂:文教育学部言語文化学科中国語圏言語文化コース B4 陳莉瑩:交換留学生 |

私が本企画を開催した理由は 2 つあります。1 つは台湾が大好きで、普段は出来ないような台湾の魅力を伝えるイベントをしたかったため、もう 1 つは現在香りに関する研究をしている自分自身の知識を深めたかったためです。ポスターを学内に貼るだけではなく、留学生の H.R. で紹介したり国際課より告知をしていただいた結果、当初の定員 25 名を上回る 27 名の参加者をあつめることが出来ました。

2018 年 6 月 26 日に 2 回に分けて行ったワークショップ当日は、座学を 30 分ほど行った後に工作をしました。座学の内容は①中華圏の祝日②世界の香り文化③香包の中身について④香道の香料を用いた香り遊び です。また、配布した冊子には座学内容の捕捉や、香り遊びをした時に感想を書けるページを用意しました。工作は、針や糸を使った本格的なものであったため、私の所属している日本台湾学生会議のメンバーにも補助してもらいました。

企画を開催して「台湾の文化を伝えること」、「香りの世界を体験してもらうこと」の他にも得られた収穫がありました。それは、参加者同士の仲が深まったことです。始めに行ったアイスブレイクや、工作という共通の操作を行うことで自然と話が弾んだのではないかと思います。また、留学生の参加者が多かったため、座学では留学生に母国の祝日について聞く機会もつくりました。その結果、参加者から世界中の祝日を知ることができた、という感想をいただき、参加者同士の関わりによって新たな付加価値ができたと感じました。

反省点としては、工作が難しかったことです。特に人数の多かった 1 回目は全員を丁寧に教えることが出来ず、1 時間半で作り終わらない方もいました。人数配分をもう少し考えるべきでした。

今回のように、文化を学びながら工作を行うワークショップは他にはなく、参加者からもその点に関して高い評価をいただきました。私は今年度で卒業しますが、社会人になっても本企画の経験を活かして周りの方が喜ぶようなイベントを開催したいです。

